

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月25日

上場会社名	養命酒製造株式会社	上場取引所	東名
コード番号	2540	URL	https://www.yomeishu.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 塩澤 太朗	
問合せ先責任者	(役職名) 上席執行役員 コーポレート本部長	(氏名) 井川 明	(TEL) 03-3462-8138
四半期報告書提出予定日	2019年7月31日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,323	△5.6	114	9.9	275	7.3	343	78.7
2019年3月期第1四半期	2,461	△7.6	104	△65.8	257	△44.1	192	△40.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	25.02	—
2019年3月期第1四半期	14.01	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	44,522	39,402	88.5
2019年3月期	46,347	40,622	87.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 39,402 百万円 2019年3月期 40,622 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	4.4	390	132.0	560	64.2	500	106.0	36.40
通期	11,120	5.7	600	7.5	920	4.9	720	4.8	52.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	16,500,000株	2019年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,762,666株	2019年3月期	2,764,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	13,735,538株	2019年3月期1Q	13,727,802株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善する中、景気は緩やかな回復基調が続き、個人消費は持ち直してきてはいるものの、海外経済の不確実性、通商問題等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(2018年4月～2021年3月)において、「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた事業基盤の構築」を基本方針として「選択と集中」「スピードと効率」「コスト管理の徹底」「経営基盤の強化」の基本戦略を推進し、「養命酒の売上回復」と「酒類食品分野の伸長カテゴリーへの注力」により事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高は2,323百万円(前年同四半期比5.6%減)、営業利益は全般的な経費減により114百万円(前年同四半期比9.9%増)、経常利益は275百万円(前年同四半期比7.3%増)、四半期純利益は、社有地売却に伴う固定資産売却益207百万円を特別利益に計上し、343百万円(前年同四半期比78.7%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は2,225百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、ドラッグストア等主要販売チャネルである小売店での店頭陳列の強化や購入促進施策等の販売促進活動に取り組むとともに、新たな販売チャネルとして開拓している保険薬局取扱店舗数の拡大に努めました。また、プロモーションにつきましては、胃腸の不調をテーマにウェブを中心としたコンテンツマーケティングを強化しました。テレビスポット広告等プロモーション強化時期を第2四半期に計画していることもあり、売上高は、1,691百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に合わせた広告等の販売促進活動を実施しました。売上高は、31百万円(前年同四半期比0.0%)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は1,722百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「ヘルスケア」につきましては、「養命酒製造の黒酢」の保険薬局取扱店舗数の拡大に取り組んだ一方、前年第1四半期に実施した販売促進施策を今期は第2四半期に計画したことから売上が減少しました。「ヘルスケア」の売上高は、28百万円(前年同四半期比14.7%減)となりました。

「酒類」につきましては、2019年3月発売の「クラフトジン」の新規採用や定番化に向けた営業活動に注力した一方、「フルーツとハーブのお酒」の売上が減少しました。「酒類」の売上高は、175百万円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

「食品」につきましては、「グミ×サプリ」、2018年10月発売の「養命酒製造のど飴」、2019年3月発売の「黒豆黒酢」の取扱店舗数の拡大に注力しました。「食品」の売上高は、146百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

「リテール」につきましては、「くらすわ」がジョップ・レストランにおける各施策に加え、ゴールデンウィークの効果もあり、堅調に推移しました。「リテール」の売上高は、152百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。

以上の結果、「その他商品・サービス」全体の売上高は503百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

② その他

不動産賃貸と鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は98百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,824百万円減少し、44,522百万円となりました。これは主に売掛金が208百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の減少等により1,458百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ604百万円減少し、5,119百万円となりました。これは主に未払費用が247百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が432百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,219百万円減少し、39,402百万円となりました。これは主に四半期純利益343百万円の計上及び配当金552百万円の支払いにより利益剰余金が208百万円、その他有価証券評価差額金が1,015百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,119,075	6,482,173
売掛金	2,505,271	2,297,257
有価証券	1,500,038	2,000,078
商品及び製品	474,652	506,968
仕掛品	113,544	114,005
原材料及び貯蔵品	979,911	1,014,465
その他	142,278	252,618
流動資産合計	12,834,772	12,667,567
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,952,254	3,899,890
その他(純額)	3,824,905	3,887,439
有形固定資産合計	7,777,159	7,787,329
無形固定資産		
	257,799	238,720
投資その他の資産		
投資有価証券	17,187,511	15,393,645
長期預金	4,400,000	5,200,000
その他	3,898,287	3,243,520
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	25,477,458	23,828,826
固定資産合計	33,512,417	31,854,876
資産合計	46,347,190	44,522,444
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,334	220,867
未払法人税等	120,998	125,988
賞与引当金	200,647	97,612
その他	970,198	888,681
流動負債合計	1,554,177	1,333,148
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	4,122,371	3,738,499
固定負債合計	4,170,721	3,786,849
負債合計	5,724,899	5,119,998

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	720,938	720,938
利益剰余金	37,616,470	37,407,763
自己株式	△4,990,539	△4,986,247
株主資本合計	34,996,870	34,792,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,625,420	4,609,991
評価・換算差額等合計	5,625,420	4,609,991
純資産合計	40,622,290	39,402,446
負債純資産合計	46,347,190	44,522,444

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,461,142	2,323,842
売上原価	894,142	839,052
売上総利益	1,566,999	1,484,789
販売費及び一般管理費	1,462,623	1,370,092
営業利益	104,375	114,697
営業外収益		
受取利息	9,415	9,464
受取配当金	140,920	151,659
その他	6,823	4,560
営業外収益合計	157,159	165,685
営業外費用		
支払利息	4,212	4,360
その他	73	42
営業外費用合計	4,285	4,403
経常利益	257,249	275,979
特別利益		
固定資産売却益	—	207,437
特別利益合計	—	207,437
特別損失		
固定資産除却損	448	1,870
特別損失合計	448	1,870
税引前四半期純利益	256,800	481,546
法人税、住民税及び事業税	56,000	137,000
法人税等調整額	8,465	895
法人税等合計	64,465	137,895
四半期純利益	192,335	343,650

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。